



帆引き船講演会&帆引き船シンポジウム

「帆引き船と 霞ヶ浦の魚食文化」

平成30年

9月16日 日 12:30 ~ 17:15 受付開始 12:00 ~

場 所 かすみがうら市農村環境改善センター (かすみがうら市坂934-1)

参加受付 8月1日(水) ~ 24日(金)までにお電話でお申し込みください。(定員200人)

申 込 先 世界湖沼会議かすみがうらサテライト事務局 (かすみがうら市生活環境課内)
TEL029-897-1111

12:00 ~ 受付開始
12:30 ~ 開会式
13:00 ~ 学生発表
13:50 ~ 試食会~新たな魚食の可能性~

14:10 ~ 基調講演
15:20 ~ 事例発表
16:10 ~ パネルディスカッション
17:00 ~ 閉会式



第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)

人と湖沼の共生 -持続可能な生態系サービスを目指して-
平成30年10月15日(月) ~ 19日(金) つくば国際会議場ほか



河 川 公 益 財 団 法 人 河 川 財 団 による
基 金 河 川 基 金 の 助 成 を 受 け て い ま す。

サテライトかすみがうら

—— 霞ヶ浦の豊かな生態系と共存するかすみがうら ——

帆引き船講演会&帆引き船シンポジウム「帆引き船と霞ヶ浦の魚食文化」

霞ヶ浦の風物詩的な存在である「帆引き船」は、明治初期にその漁法を考案されてから昭和中期にトロール船にとって替わられるまで霞ヶ浦の漁業を支え、周辺に住む人々はそこで得られた豊かな水産資源に育まれてきました。また、霞ヶ浦水系の河川は農業用水としても活用され、水稻、レンコンなど多くの農産物がその恩恵を受けています。霞ヶ浦の水は私たちの生活の根幹を成しているといっても過言ではありません。サテライトかすみがうらでは「霞ヶ浦の豊かな生態系と共存するかすみがうら」をテーマに掲げ、第17回世界湖沼会議のメインテーマである持続可能な生態系サービスを目指し、「帆引き船」と「霞ヶ浦の魚食文化」にスポットをあて、霞ヶ浦との共生の新たな可能性を探っていきます。

学生発表 13:00 ~

市内の小・中学生が霞ヶ浦や身近な水環境について学習した内容を発表します。

「霞ヶ浦のためにできること」

霞ヶ浦南小学校4年生

「ワカサギの孵化事業から学んだ事」

霞ヶ浦北小学校6年生

「霞ヶ浦とジオパーク」

下稲吉中学校郷土科学部



試食会 13:50 ~

パネリストになっているネモトッキングスールの協力のもと、ワカサギとコイを使った一品料理の試食会を行います。食卓の新たな可能性を探ってみませんか。

メニュー

ワカサギの南蛮酢

レンコン団子の鯉コラーゲン汁



シンポジウム 14:10～

霞ヶ浦とその周辺に暮らす人々の営みをつないできた「帆引き船」と水産加工業に代表される「魚食文化」。基調講演や先進事例の発表、パネルディスカッションを通じて霞ヶ浦の豊かな資源との共存する術を探っていきます。

基調講演「霞ヶ浦の恵みと魚食文化」

講師：筑波学院大学 教授 古家 晴美氏



略歴：1960年3月 神奈川県生

1983年3月 筑波大学 第二学群 比較文化学類文化人類学専攻

1993年4月 筑波大学 歴史・人類学研究科 単位取得満期退学 文化人類学

1998年4月 東京家政学院 筑波女子大学 国際学部 講師

2002年4月 東京家政学院 筑波女子大学 国際学部 助教授

2010年4月 東京家政学院 筑波学院大学 国際学部 准教授

2016年4月 東京家政学院 筑波学院大学 国際学部 教授

「魚食離れ」は、現代の食生活が抱える大きな問題の1つです。今回は、「霞ヶ浦の恵み」を人々がどのような形で生活に取り込んで来たかを中心に振り返り、川魚食文化再興に向けて考えて行きたいと思います。

事例発表①「漁業と水産加工の現状」

かすみがうら市水産加工業 安部 知明氏

事例発表②「霞ヶ浦の川魚食の可能性」

ネモトクッキングスクール 根本 悦子氏

事例発表③「びわ湖のめぐみ、琵琶湖八珍について」

滋賀県農政水産部水産課 関 慎介氏

事例発表④「長良川の鵜飼いと鮎」

岐阜市歴史博物館 大塚 清史氏

パネルディスカッション

パネリスト

かすみがうら市水産加工業

安部 知明氏

ネモトクッキングスクール

根本 悦子氏

滋賀県農政水産部水産課

関 慎介氏

岐阜市歴史博物館

大塚 清史氏

コーディネーター

かすみがうら市歴史博物館

千葉 隆司氏

関連事業

帆引き船模型展示(協力：霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会)

市内の小中学生が模型作り教室で作成した帆引き船模型を、霞ヶ浦の水質浄化に向けたメッセージとともに展示します。

パネル展示

霞ヶ浦の水質浄化に向けての取組や、帆引き船の継続に向けた取組など、霞ヶ浦の資源を守るために私たちが取り組んできたことを展示します。

・かすみがうら市家庭排水浄化推進協議会 ・霞ヶ浦問題協議会 ・霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会 ほか

世界湖沼会議開催記念ダムカード 配布 (国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所)

アンケートにご協力いただいた方に「サテライトかすみがうらカード」、「西浦ダムカード」、「北浦ダムカード」の3種類のダムカードと専用カードケースを配布します。

また、3種類のダムカードとカードケースを10月15日から開催される本会議会場に持参いただきますと4枚目の世界湖沼会議記念ダムカードを入手することができます。

他のサテライト会場でも入手することができますので、ぜひ集めてみてください。



七色観光帆引き船 3市合同操業

9/16日



見学船乗船のご案内

— 事前の申込みが必要です —

応募方法：官製はがきに次の必要事項を記入して応募ください

①名前②住所③自宅電話番号と携帯電話番号（当日の連絡先）

* 1通につき1名応募可能

応募期間：8月1日（水）～10日（金）必着

募集定員：30名 * 抽選結果は後日郵送 料金：小学生以上3,000円／未就学児 無料

応募先：〒300-0192 かすみがうら市大和田562 かすみがうら市観光商工課宛

受付：

かすみがうら市交流センター
TEL 029-896-1226

（土浦市、行方市でも受け付けます）

操業場所：

かすみがうら市歩崎沖

第17回世界湖沼会議開催記念 平成30年度第41回特別展 開催

「日本漁業史の中の帆引き船 —— 霞ヶ浦漁業からの殖産興業 ——」

平成30年9月15日（土）～平成30年10月21日（日）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）

会場 かすみがうら市歴史博物館 特別展示室

入館料 一般210円 小中学生 100円

ギャラリートーク 9月30日（日） 3:30～

記念講演会「日本漁業史の中の帆引き船」

平成30年10月14日（日） 13:30～15:00

かすみがうら市歴史博物館研修施設

（旧歩崎公園ビジターセンター 研修室）

講師：千葉隆司（歴史博物館 学芸員）



<問い合わせ先>

かすみがうら市歴史博物館

〒300-0214 茨城県かすみがうら市坂1029-1 番地
TEL 029-896-0017

アクセスマップ



お問い合わせ先

世界湖沼会議かすみがうらサテライト実行委員会事務局
（かすみがうら市生活環境課内）

TEL 029-897-1111

かすみがうら市のホームページ

<https://www.city.kasumigaura.lg.jp/page/page005147.html>

第17回世界湖沼会議のホームページ

<http://www.city.kasumigaura.lg.jp/page/page003438.html>

